

協定企業名	株式会社ツムラ
交流行事名	「土佐ツムラの森」 ツムラ出前授業・林業体験学習
開催日時	平成 22 年 11 月 16 日（火） 10 時 40 分から 16 時まで
開催場所	越知中学校、土ヶ森薬草・薬木園（越知町横畠）
主な参加者・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・越知中学校 2 年 A 組 24 名、2 年 B 組 23 名、引率教員 ・(株)ツムラスタッフ 3 名 ・(農)ヒューマンライフ土佐、片岡代表理事ほか ・越知町役場（副町長、産業建設課、企画課、環境水道課、農業委員会、教育委員会） ・仁淀川森林組合 ・高知県職員（中央西林業事務所 2 名、地域づくり支援課 1 名、環境共生課 2 名） <p style="text-align: center;">総勢 約 80 名</p>
交流行事の概要	<p>越知町と(株)ツムラとは、地元の農事組合法人ヒューマンライフ土佐の薬草生産を通じて交流があり、平成 20 年 6 月には、(株)ツムラ、ヒューマンライフ土佐、越知町及び高知県の 4 者で「協働の森づくり事業」のパートナーズ協定を締結し、地元の森林を「土佐ツムラの森」として整備を始めました。</p> <p>「土佐ツムラの森」では、間伐などの森林整備により仁淀川水系の水源を保全するとともに、森林や薬草園などのフィールドを活用した自然体験や実習を通して、環境意識の高揚と参加者同士の交流を深めています。</p> <p>(1) ツムラ出前授業「越知町とツムラのつながり」 10:45～11:25 講師：(株)ツムラ CSR 推進室 歌川博幸 氏 受講者：越知中学校 2 年生（A 組・B 組）</p> <p>(2) 出前授業「森林の大切な機能について」 11:25～11:45 講師：高知県中央西林業事務所 振興課チーフ 植田嘉真 氏 受講者：越知中学校 2 年生（A 組・B 組）</p> <p>(3) 現地体験学習 「間伐体験（2 年 A 組） 植樹体験（2 年 B 組）」</p>
交流ポイント	<p>(1) ツムラ出前授業「越知町とツムラのつながり」</p> <p>講師の(株)ツムラ CSR 推進室 歌川博幸 氏より講義があり、ツムラの歴史やツムラでは漢方薬を作っていることの説明がありました。また、ヒューマンライフ土佐の薬草の生産を通じて、越知町とのこれまでのつながりの説明がありました。</p> <p>さらに、県外企業から越知町を見た場合、越知町には恵まれた自然があること、そして漢方薬は自然の恵みでできており、漢方薬を生産するうえで自然環境を守ることはとても重要であることの説明がありました。</p> <p>ツムラとしては、よい漢方薬をずっと作り続けていくために、生薬を育てている自然と地域の方々にできることとして、豊かな自然を守るお手伝いをしていきたいとの説明がありました。</p> <p>(2) 出前授業「森林の大切な機能について」</p> <p>講師の高知県中央西林業事務所 振興課チーフ 植田嘉真 氏より、森林の大切な機能について講義があり、森林には水源のかん養機能や土砂流出防止機能など様々な機</p>

能があること、また、地球温暖化防止のためのCO₂を吸収する機能があることなど森林機能の大切さを学びました。そして、間伐など森林整備をすすめることで、太陽が森の中に入りCO₂吸収が図られることや、下草が生えて雨のときに土が流れにくくなり、豊かな水が生まれ川も海も豊かになることなど、森林整備の重要性を学びました。

(3) 現地体験学習 「間伐体験（2年A組）」「植樹体験（2年B組）」

越知中学校2年生が、間伐組と植樹組に分かれて現地体験学習を行いました。

間伐組では、4班に分かれて間伐体験を行い、指導者のもとで、ノコギリを使ってヒノキの伐採を体験しました。ノコギリの使い方には悪戦苦闘している生徒もいましたが、伐採が進むたびに生徒の歓声があがっていました。

植樹組では、4班に分かれて植樹体験を行い、指導者のもとで、くわを使ってホウノキやクヌギなどの植樹をしました。最初はくわの使い方に不慣れな生徒もいましたが、作業が進むにつれて上手にくわを使いこなしていました。

当日の様子



ツムラ出前授業
講師：(株)ツムラ
歌川博幸 氏

出前授業
講師：中央西林業事務所 植田嘉真 氏



間伐組（2年A組）



植樹組（2年B組）



記念撮影 間伐組



記念撮影 植樹組